



OYOフェア 2016

展示内容



■リスクをプラスに「かえる」

災害避難タイムライン、BCP/BCM、災害報告アプリ、リスク診断ほか

■リスクをプラスに「つなぐ」

- ・ひとと環境をつなぐ
土壌汚染対策法改正ほか
- ・ひとと社会をつなぐ
道路維持管理/穴ぼこシステム、路面下空洞探査
大規模盛土造成地防災対策、河川堤防の維持管理ほか
- ・ひとと安全をつなぐ

■最新計測機器の展示と各種ソリューションの提案

- ・IoT 防災機器、研究開発製品ほか

■OYOグループ各社の地盤/自然災害リスクマネジメントサービス/製品

- ・海外における自然災害リスクの最小化
- ・火山シミュレーション/地震後の建物安全性確認システムほか

リスクをプラスに。

—災害・環境リスクへの備えが新たな価値を生む時代に向けて—

技術セミナーの講演内容

※ テーマ及び内容が変わる場合もございます。あらかじめご了承ください。

10月13日(木)

10:50	C	防災減災におけるIoTの現状と将来
11:40	D	OYO が提供するリスク診断サービス
13:00	A 【重点セミナー】	熊本地震 初動対応での貢献
14:00	B 【重点セミナー】	OYO グループが提供する自然災害の事業継続ソリューション
15:00	E	土壌汚染対策法、次の改正のゆくえは？
15:50	F	生物を利用した水質管理手法 (WET) の活用

10月14日(金)

10:50	E	土壌汚染対策法、次の改正のゆくえは？
11:40	F	生物を利用した水質管理手法 (WET) の活用
13:00	A 【重点セミナー】	熊本地震 初動対応での貢献
14:00	B 【重点セミナー】	OYO グループが提供する自然災害の事業継続ソリューション
15:00	C	防災減災におけるIoTの現状と将来
15:50	D	OYO が提供するリスク診断サービス

A
重
点
セ
ミ
ナ
ー

10/13・14 両日 13:00～13:30

熊本地震 初動対応での貢献 —復興への魁—

講演者: 九州支社 副支社長 大山 洋一



「熊本地震」は内陸活断層による直下型地震であり、熊本市街地から阿蘇地域の山岳部、大分県に至るまで様々な形態の災害をもたらしました。弊社にて実施いたしました発災当初からの緊急対応や被害状況調査結果を整理して、熊本地震の全体像をご報告します。

B
重
点
セ
ミ
ナ
ー

10/13・14 両日 14:00～14:30

OYO グループが提供する 自然災害の事業継続ソリューション

講演者: 事業開発室 寺田 悠祐



地震をはじめとした自然災害時の事業継続には、マネジメントのみならず行動支援までのソリューションが求められます。日々、自然災害の現場と向き合う応用地質から、グループ会社の総力を挙げて新たなソリューションをご紹介します。

C

10/13 10:50～11:10 / 10/14 15:00～15:20

防災減災におけるIoTの現状と将来

講演者: 計測システム事業部 開発部 副部長 河野 将孝



私たちの生活は常に各種の自然災害の危険にさらされています。これらの災害から身を守るためにIoT技術が革新的な役割を果たします。弊社が防災減災のために活用するIoT技術についてご紹介するとともに、今後目指す将来像についてご紹介します。

D

10/13 11:40～12:00 / 10/14 15:50～16:10

OYO が提供するリスク診断サービス

講演者: 社会システム事業部 サービス開発部 高橋 智也



「JudGe5」は、コマツが展開している建設現場向けのICTソリューション「スマートコンストラクション」のオプションとして、7月より開始したサービスです。「JudGe5」についてご紹介するとともに、他のラインナップとなる地盤情報サービス・自然災害リスク診断サービスについてもご紹介します。

E

10/13 15:00～15:20 / 10/14 10:50～11:10

土壌汚染対策法、 次の改正のゆくえは？

講演者: 技師長室 技師長 門間 聖子



平成22年に土壌汚染対策法が大きく改正されて5年余りが経過し、間もなく2回目の見直しの時期を迎えます。区域指定を受けると無害な土壌も現実的には汚染土壌として処理せざるを得ない、自然由来・埋立材由来の基準不適合土壌を有効利用できないか・・・山積する課題に対し法改正はどう答えるのか、最新の情報をお伝えします。

F

10/13 15:50～16:10 / 10/14 11:40～12:00

生物を利用した水質管理手法 (WET) の活用 —水のリスク対策から企業価値の向上へ—

講演者: エヌエス環境(株) 営業企画本部 馬場 良美



バイオアッセイ (魚類・甲殻類・藻類) を利用した水質管理手法 (WET) は、多数の化学物質による毒性影響を総合的かつ合理的に評価する新たな方法として着目されています。水のリスク対策のみならずCSR・環境活動としてなど、企業価値向上への効果的な活用についてご提案いたします。